

領域 9 インフォーマルミーティング議事録

2008.3.24 17:30~19:30

於 近畿大学 TD 会場

参加人数：40 人程度

1 報告事項

1.1 今大会のプログラム編成

1.2 2008 年秋季大会までのスケジュール

以上について報告がなされた。

- ・ 結晶成長とポスターがパラレルセッションであったため、結晶成長での聴衆が減少した問題点が指摘された。部屋の都合をうまくつけるべく、善処することとした。

2 協議事項

2.1 次期領域副代表・次々期領域代表の推薦・承認

2008.10 ~ 2009.9 領域副代表、2009.10 ~ 2010.9 領域代表
小森 文夫 氏（東京大学）が推薦され、承認された。

2.2 次々期世話人の推薦・承認

- ・ 結晶成長分科
佐崎 元 氏（北海道大学）
- ・ 表面・界面分科
坂本 一之 氏（千葉大学）
ディニョ ウィルソン（Wilson Diño）氏（大阪大学）

上記 3 名が推薦され、承認された。

2.3 2008 年秋季大会におけるシンポジウム・招待講演

シンポジウム

2 件のシンポジウムが提案された。

1. “ソフト・コンデンスド・マターの結晶成長”

提案者を上野氏のみとする、5-10 分程度のイントロダクションを加える、講演時間は休憩を含めて 3.5 時間に収めることとし、承認された。

2. “Pd 表面・ナノ粒子での水素吸収の物理と応用”

提案者の変更、イントロダクションの追加、講演時間を各 30 分とする、英語講演にするかどうかの確認が必要、との指摘があった。領域 10 との合同とする件については異論が出なかった。4 月 7 日までに再考のうえで世話人宛て再提出とし、許諾は領域代表に一任されることとなった。

招待講演

3 件の招待講演が提案された。

1. 白澤 徹郎 氏

推薦者の河合氏との連続講演とするアイデアが出されたが、招待講演が 4 件となる可能性があること等から、原案どおりで承認された。

2. 高岡 毅 氏

提案書類中の論文リストの重複を訂正することとし、承認された。

3. 小倉 正平 氏

講演時間を 30 分に変更することとし、承認された。

シンポジウム・招待講演の推薦順位付けについては、領域代表に一任することとした。

2.4 キーワード・合同セッションについて

キーワードと、現行の領域 3, 10 との合同セッションについて報告された。

今後、よりフレキシブルに合同セッションを設定するための一つの方法として、プログラム編成時に合同セッションを組む方が良いと判断される講演数が一定数を超えれば機動的に合同セッションを設定する方針と、次回秋季大会では領域 7 との機動的合同セッションを検討する旨が説明され、一定の理解が得られた。また、これを含めて合同セッションのあり方、問題点について、以下の討論がなされた。

・合同セッションに出しても、発表者が利益を感じるようであればならない。現

状では、領域 9 から外れてしまう感覚がある。

- ・合同セッションが行われる場所にも問題がある。領域 9 の他の会場から離れすぎている。
- ・合同セッションの場所確保を優先的に行うよう、学会側に強く要望するべき。
- ・プログラムには、関係する領域全ての箇所に合同セッションの講演題目などを載せるよう、学会側に要望する。
- ・講演数の多いほうを主領域にしていると、副領域からの次回からの参加者が減少するのではないか。主領域は、機械的に交互にするべきではないか。
- ・機動的合同セッションは世話人レベルで決めるのか？ それで良いので、ひとまず実行してみれば良いのでは。
- ・合同セッションの数は、領域 7 は多い。領域 9 は平均的。
- ・合同シンポジウムを行う解もある。
- ・領域 9 の電子状態セッションと、領域 5 の光電子分光セッションでの合同セッションも候補のひとつ。
- ・プログラム編成前に、部屋を確保する事、講演内容を正確に把握する事が大事。

平成 21 年春の学会(次々回)の会告に載せる募集要項は 20 年 8 月頃(次回インフォーマルミーティング前)であるので、定常的な合同セッション、キーワード新設定などを行うかについて、今回議論した。まず次回秋季大会で領域 7 との合同セッションを行った後検討した方が良いので、次々回の募集要項は、基本的には次回と同じとすることになった。(次回用の募集要項は既に物理学会へ送付済み。)

3 その他